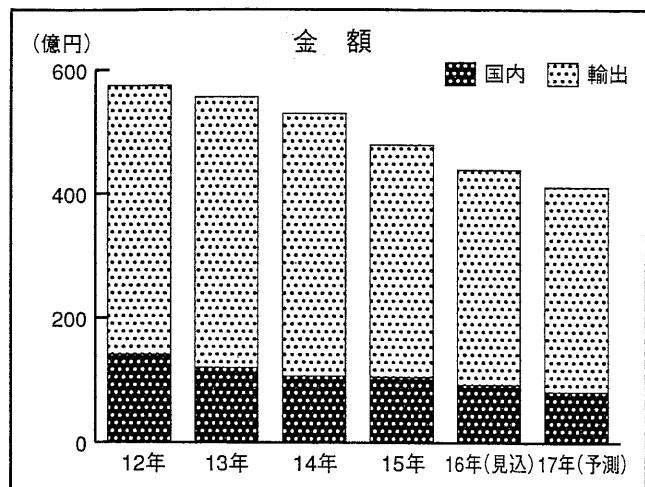


電卓



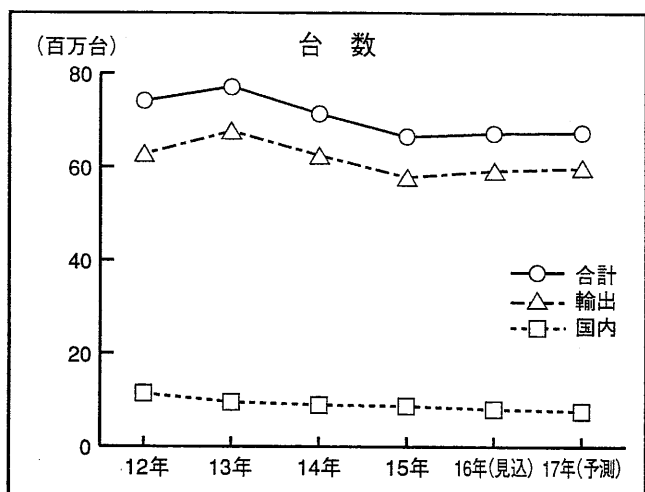
《国内需要》

- 1) コモディティ化に加え、少子化の影響も受けて需要低下傾向は更に加速すると予測される。

《海外需要》

- 1) 長期低落傾向に変化はなく、価格低下も含めて市場の縮小は続くと見られる。

(注) 従来の電卓分野は電子辞書を含んでいたが、今回から遡って電卓のみとした。



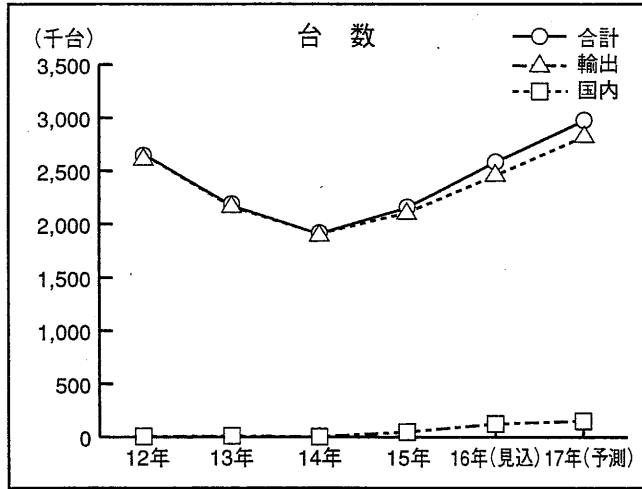
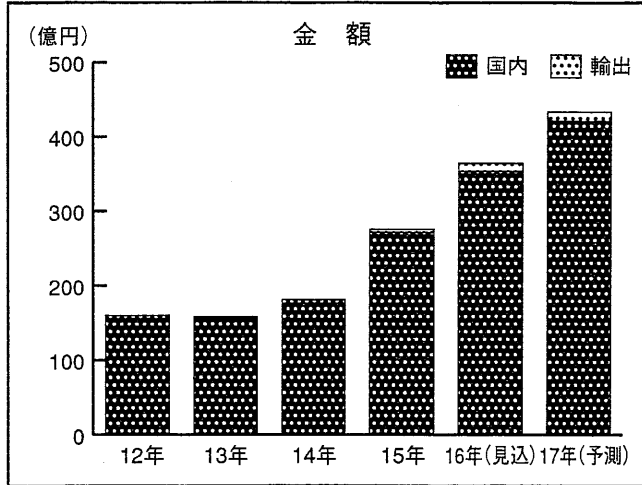
《技術動向》

- 1) カード型電卓からプリンタ付電卓まで幅広いジャンルで既にコモディティ化しており、新たな開発要素は見当たらず、技術開発は電子辞書分野に移行している。

(千台、百万円、%)

		平成12年 (2000)	平成13年 (2001)	平成14年 (2002)	平成15年 (2003)	平成16年 (2004) 見込み	平成17年 (2005) 予測
国内	台数 前年比	11,359 90.3	9,544 84.0	8,921 93.5	8,669 97.2	8,017 92.5	7,615 95.0
	金額 前年比	14,145 72.7	12,073 85.4	10,716 88.8	10,532 98.3	9,294 88.2	8,225 88.5
輸出	台数 前年比	62,758 100.7	67,650 107.8	62,454 92.3	57,787 92.5	59,160 102.4	59,750 101.0
	金額 前年比	43,333 95.0	43,542 100.5	42,245 97.0	37,359 88.4	34,580 92.6	32,850 95.0
合計	台数 前年比	74,117 99.0	77,194 104.2	71,375 92.5	66,456 93.1	67,177 101.1	67,365 100.3
	金額 前年比	57,478 88.4	55,615 96.8	52,961 95.2	47,891 90.4	43,874 91.6	41,075 93.6

電子辞書



《国内需要》

- 1) 受験ツールとして「国語・漢和・英和・和英」などの一般的辞書を搭載した学生向けモデル、これに外国語会話等を含むビジネスマン向けモデル、文字が大きく、家庭医学、生活百貨などを搭載する中高年向けモデルなど、ユーザーニーズに最適な電子辞書が豊富にラインナップされ、生活密着型商品として一層の需要拡大が見込まれる。
- 2) コンテンツ（辞書）の豊富さに加え、サイズ（ポケット型から卓上型）、表示（白黒／カラー）、文字サイズ（拡大機能）、外部メモリの有無等、一段と機能別に選択肢が広がり、拡大が期待できる。

《海外需要》

- 1) 海外向けの電子辞書が新しいジャンルとして立ち上がりを見せ、今後の需要拡大が期待される。

(注) 従来の電子辞書は、電卓分野の中に含まれていたが、今回から遡って電子辞書分野を作成した。

《技術動向》

- 1) 辞書を中心に表示できるコンテンツの拡大を目指し、メモリーカードスロット搭載によるユーザーに合わせたカスタマイズが可能になった。
- 2) カラー液晶搭載により、絵や写真等を織り込んだ百科事典タイプの電子辞書も商品化されて来た。
- 3) 通信機能や電子ブック機能等も今後搭載される可能性があり、用途別開発が一段と広がって行く。

(千台、百万円、%)

		平成12年 (2000)	平成13年 (2001)	平成14年 (2002)	平成15年 (2003)	平成16年 (2004) 見込み	平成17年 (2005) 予測
国内	台数 前年比	2,655 170.1	2,163 81.5	1,907 88.2	2,107 110.5	2,458 116.7	2,820 114.7
	金額 前年比	16,011 167.2	15,794 98.6	18,113 114.7	27,149 149.9	35,342 130.2	42,100 119.1
輸出	台数 前年比	4 —	11 275.0	2 18.2	47 2,350.0	124 263.8	150 121.0
	金額 前年比	10 —	22 220.0	7 31.8	450 6,428.6	1,083 240.7	1,260 116.3
合計	台数 前年比	2,659 170.4	2,174 81.8	1,909 87.8	2,154 112.8	2,582 119.9	2,970 115.0
	金額 前年比	16,021 167.3	15,816 98.7	18,120 114.6	27,599 152.3	36,425 132.0	43,360 119.0